

名家連ニュース

平成 29 年 5 月 22 日 (月)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX (052) 846-5576 NO. 464 号

第19回名家連総会開催

5月20日(土)、大同健保会館において第19回総会が開催されました。司会の信藤理事、堀田会長の挨拶、そして来賓の健康福祉局障害企画課杉原主幹、愛家連徳田会長からご挨拶を頂きました。

議長に小島氏(ちくさ家族会)を選出。定款に基づき総会成立宣言、議事録署名人、記録者等を選任。議案審議では、堀田会長から事業報告・事業計画(案)、土岐会計担当理事から決算・予算、吉戸副会長から法改正による定款変更の説明を受け、その都度、質疑応答を通じて内容の相互理解を深め合い、今後の課題なども共有しました。

今年度事業計画の特徴の一つは「家族SST講座(9月以降も継続)」「精神科医による勉強会(9月より10回開催)」を並行して開催し、新たに入会した会員を含めた「家族の学びの場」を重視した内容となっています。

今年の総会は狭い会場しか確保できず、事前に各家族会に参加人数を制限させていただきました。そのため総会は43名、総会後の「親が元気なうちにシリーズ」の一環として開催された「遺産相続・遺言書の作成」の講演会には50名と例年の半数ほどの参加数となりました。来年の会場選定については、今後、代表者会議・役員会等で検討していくことになります。

一遺言公正証書作成のための提出資料の手引き一 講師：宮崎雄一氏(公証役場公証人)

参加者から寄せられた講演会の感想

- 公証役場役人さんの話は、「きっと堅苦しいだろう」と思っていたが全然違っていた。身近に感じた。
- 重苦しいテーマも笑いを誘うエピソードを交えて分かりやすく話して頂きとても参考になりました。
- 相続問題は悩ましくいつも思案していたが今日の話は大いに参考になった。相談しに行こうかと思う。
- 公証役場のことは良くわからなかったが、とてもお話上手で公証役場を身近に感じるようになった。
- 公正証書と自筆証書の違い、自筆証書の留意点などなるほどと思う話ばかりで目から鱗の感があった。
- 聞いた時は理解できても明日になると自信がもてない。「まずは相談」とのお話を肝に銘じたい。
- 「日公連」や他の相談機関等の紹介もあった。色々情報も得ながら具体的に事を進めねばと思う。
- 代理権、後見契約、後見と遺言はセット等…なるほどと思う話ばかり…このような話は初めて聞いた。
- 今まで聞いた弁護士や司法書士、信託会社等の費用だと前に進みづらい。公正証書の信頼性や公証役場の費用をお聞きし安心できた。
- 任意後見・条件遺贈又は法定後見…自分の任意後見人を選びその後法定後見人になってもらう…などの方法は、考えさせられる情報だった



5月14日(日)の第8回家族SST講座は23名の参加でした。次回は6月10日(土)、午後1時半です。